

# 平成26年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年12月27日

上場取引所 東

上場会社名 ケイティケイ株式会社  
 コード番号 3035 URL <http://www.ktk.gr.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年12月27日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 青山 英生  
 (氏名) 木村 裕史

TEL 052-931-1881

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成26年8月期第1四半期の連結業績(平成25年8月21日～平成25年11月20日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年8月期第1四半期	4,020	94.8	△90	—	△83	—	△49	—
25年8月期第1四半期	2,064	—	26	—	26	—	18	—

(注) 包括利益 26年8月期第1四半期 △41百万円 (—%) 25年8月期第1四半期 18百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年8月期第1四半期	△8.71	—
25年8月期第1四半期	4.96	—

決算期の変更(5月20日を8月20日)に伴い、平成24年8月期は15か月の変則決算となります。このため、25年8月期第1四半期の対前年同四半期増減率については、記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年8月期第1四半期	7,835	2,454	31.3
25年8月期	7,915	2,507	31.7

(参考) 自己資本 26年8月期第1四半期 2,454百万円 25年8月期 2,507百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年8月期	—	3.00	—	2.00	5.00
26年8月期	—	—	—	—	—
26年8月期(予想)	—	0.00	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成26年8月期の連結業績予想(平成25年8月21日～平成26年8月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,072	97.1	△92	—	△90	—	△64	—	△11.29
通期	17,030	36.3	50	2,538.3	53	49.1	11	△92.3	1.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年8月期1Q	5,875,000 株	25年8月期	5,875,000 株
② 期末自己株式数	26年8月期1Q	152,815 株	25年8月期	152,815 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年8月期1Q	5,722,185 株	25年8月期1Q	3,637,285 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在における入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 結経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成25年8月21日～平成25年11月20日)におけるわが国経済は、政府主導による経済政策や日本銀行の金融緩和政策を背景に、輸出産業を中心とした企業の業績改善や個人消費の持ち直しが見られたものの、海外経済の動向や消費税増税後の需要動向に対する不安感などから、依然として先行き不透明な状況で推移しております。

このような状況のもと、当社グループは当第1四半期連結累計期間より営業体制を見直し、お客様の立場に立ったきめ細かな営業活動を展開しました。しかしながら、企業の業況感に明るい兆しは感じられるものの、企業のコスト削減意識は根強いいため、競合間での販売競争は激化しており、引き続き厳しい状況が続いております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,020百万円(前年同四半期比94.8%増)となりました。営業損失は90百万円(前年同四半期連結累計期間は26百万円の営業利益)、経常損失は83百万円(前年同四半期連結累計期間は26百万円の経常利益)、四半期純損失は49百万円(前年同四半期連結累計期間は18百万円の四半期純利益)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## (サプライ事業)

当社グループの主力商品であるリサイクル商品(リパクトナー)は、販売本数は前年同四半期を上回ったものの、競合他社との販売競争の影響を受け平均販売単価が下落、売上高は前年同四半期を下回る結果となりました。

OAサプライ商品は、新品トナーカートリッジやサプライ用品、ビジネスフォームなどの紙製品の売上高が順調に推移しました。

その他商品においては、当社独自のWeb購買システム「ケイティケイ はっするネット」の推進により一般事務用品などの売上高が順調に推移、また前期第2四半期より連結対象となった株式会社青雲クラウンの売上高、今期より連結対象となったS B Mソリューション株式会社の売上高が加わり、増加しました。

これらの結果、売上高は3,968百万円(前年同四半期比97.7%増)、セグメント損失(経常損失)は87百万円(前年同四半期連結累計期間は17百万円のセグメント利益)となりました。

なお、当社の連結子会社である株式会社青雲クラウンの業績は、多くの顧客の年度末にあたる当社第3四半期連結会計期間、第4四半期連結会計期間に売上高が多く計上されるという季節的変動があります。

## (ソリューション事業)

「@Securemail」シリーズによる売上高が増加したものの、大型ホスティング案件の終了と旧サービスの契約変更による売上減の影響を受けました。

これらの結果、売上高は52百万円(前年同四半期比8.5%減)、セグメント利益(経常利益)は3百万円(前年同四半期比58.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ80百万円減少し、7,835百万円となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金が177百万円増加したこと等により前連結会計年度末に比べ142百万円増加の5,361百万円となりました。固定資産は、埼玉営業所として使用しておりました資産の売却等により有形固定資産が127百万円、保険積立金の解約等により投資その他の資産が82百万円減少したことから、前連結会計年度末に比べ222百万円減少の2,474百万円となりました。

流動負債は、短期借入金が205百万円増加し、支払手形及び買掛金が287百万円減少したこと等により前連結会計年度末に比べ28百万円減少の4,677百万円となりました。固定負債は長期借入金が109百万円増加し、役員退職慰労引当金が107百万円減少したこと等により前連結会計年度末に比べ1百万円増加の703百万円となりました。

純資産は、四半期純損失の計上及び配当金の支払いにより利益剰余金が61百万円減少したこと等により前連結会計年度末に比べ52百万円減少の2,454百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年8月期の業績予想につきましては、平成25年10月3日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

《簡便な会計処理》

#### ①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

#### ②たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計年度末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

#### ③固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### ④経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

#### ⑤法人税並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断については、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化が生じておらず、一時差異等の発生状況に大幅な変動がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年8月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年11月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,924,197	1,870,830
受取手形及び売掛金	2,535,410	2,713,286
有価証券	20,998	21,000
商品及び製品	536,933	543,515
仕掛品	2,972	468
原材料及び貯蔵品	65,872	64,180
その他	137,036	151,874
貸倒引当金	△4,542	△4,092
流動資産合計	5,218,879	5,361,062
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,174,804	1,104,279
その他(純額)	463,971	407,069
有形固定資産合計	1,638,776	1,511,348
無形固定資産		
その他	227,590	214,743
無形固定資産合計	227,590	214,743
投資その他の資産		
その他	839,737	757,455
貸倒引当金	△9,310	△9,361
投資その他の資産合計	830,426	748,094
固定資産合計	2,696,793	2,474,185
資産合計	7,915,672	7,835,248
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,875,907	2,588,865
短期借入金	1,384,582	1,590,080
未払法人税等	20,621	3,354
賞与引当金	30,939	21,400
その他	393,983	473,511
流動負債合計	4,706,033	4,677,212
固定負債		
長期借入金	404,928	514,007
役員退職慰労引当金	183,405	75,582
その他	114,081	113,859
固定負債合計	702,414	703,448
負債合計	5,408,447	5,380,660

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年8月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年11月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	294,675	294,675
資本剰余金	708,475	708,475
利益剰余金	1,532,242	1,470,915
自己株式	△46,419	△46,419
株主資本合計	2,488,973	2,427,646
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,251	26,941
その他の包括利益累計額合計	18,251	26,941
純資産合計	2,507,225	2,454,587
負債純資産合計	7,915,672	7,835,248



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 1 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 8 月21日 至 平成24年11月20日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 8 月21日 至 平成25年11月20日)
売上高	2,064,595	4,020,812
売上原価	1,529,533	3,251,068
売上総利益	535,062	769,744
販売費及び一般管理費	508,439	860,091
営業利益又は営業損失(△)	26,623	△90,347
営業外収益		
受取利息	35	210
受取配当金	81	4,343
仕入割引	—	8,451
受取家賃	1,773	7,813
その他	1,112	3,912
営業外収益合計	3,003	24,731
営業外費用		
支払利息	2,607	5,691
売上割引	—	10,169
その他	340	2,482
営業外費用合計	2,948	18,344
経常利益又は経常損失(△)	26,678	△83,960
特別利益		
保険解約益	—	12,198
特別利益合計	—	12,198
特別損失		
投資有価証券評価損	1,051	—
特別損失合計	1,051	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	25,626	△71,762
法人税、住民税及び事業税	12,483	2,247
法人税等調整額	△4,933	△24,126
法人税等合計	7,549	△21,879
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	18,076	△49,882
四半期純利益又は四半期純損失(△)	18,076	△49,882

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年8月21日 至平成24年11月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年8月21日 至平成25年11月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	18,076	△49,882
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20	8,689
その他の包括利益合計	20	8,689
四半期包括利益	18,097	△41,192
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,097	△41,192
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年 8 月21日 至 平成24年11月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サプライ事業	ソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,007,369	57,226	2,064,595	—	2,064,595
セグメント間の内部売上 又は振替高	—	147	147	△147	—
計	2,007,369	57,373	2,064,743	△147	2,064,595
セグメント利益	17,533	9,144	26,678	—	26,678

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を図っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年 8 月21日 至 平成25年11月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サプライ事業	ソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,968,436	52,376	4,020,812	—	4,020,812
セグメント間の内部売上 又は振替高	—	94	94	△94	—
計	3,968,436	52,470	4,020,906	△94	4,020,812
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△87,780	3,820	△83,960	—	△83,960

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を図っております。